

成田幼稚園

千葉縣成田幼稚園 山口 政

當園は關東の靈場として廣く世の人に知られて居る千葉縣成田山新勝寺が明治三十八年六月日露戦役の記念として向臺と云ふ高燥な一區域に設立されたものであります。

成田山では只今中學校高等女學校圖書館感化院とこの幼稚園を併せました五事業を經營されて居ります町立の小學校を了へた子供達は遠く通學の不便もなく居ながら中學や高等女學校へ通ふ事が出來て勉學の資料として右の圖書館で益々研究する事が出來るのであります。

この五事業は丁度五人の兄弟の様に親しく手をとつて各自の勤めにいそしみて居ります。

園の敷地は參千百八拾九坪職員室、保育室、園

長室兼圖書室、應接室、靜養室、玩具室遊戲室二棟の附屬住宅小使室等約參百坪の建坪であります。

幼兒は百名を四組に編成三年保育でございます年少の組は二十名を限度と致しまして百名を五人の保姆で分擔致してをります。

園の經費の點に付て特殊な方法で致してをります事は年度の初に豫算額を定めない事で四月より翌年三月迄必要に應じて購入し年度末になつて支出の總額を計上し決定するのであります其の必要品の購入は全然一任されてをります。主任は經費の支出方法には極めて豊富な氣分で處理する事が出來る他に類のない方法かと思ひます。

園主兼園長は成田山貫主荒木僧正で外に理事會

計主任園醫と五名の保母で此園に盡して居ります。

遊園は貳千八百餘坪全部芝生になつて居ります。花壇藤棚砂場も所々に散在し幼兒は一人參拾坪近い遊園をもつ事となつて居ります。

園内のさくらは近年枝葉がのびまして花の頃は殊の外美しく眺められる様になりました成田では花の名所の一つとして又櫻雲臺とも申します。秋の紅葉も又春の花に劣らぬ程園内を彩ります。

庭には蒲公英がみどりの芝生の中に黄いろに萌えてゐるのも美しい又クローバの白く咲くのも奇麗なものであります。

春咲くりんどう、筆りんとうも苦りんとうも澤山咲きますりんどうは幼兒の手にとるにふさわしい。小さなお花雀の豌豆、鳥の豌豆も幼兒の心を喜ばせます摘みとつた小草はおまゝごとの御馳走に樂しみます夕方つぼんで朝また開く庭せきし

やうも可愛い、お花が簇り開きますので幼兒はいつも笑顔でながめてをります都草、母子草、螢袋の外に名もしれぬ數々の小草が密生致して居ります。つばなとりも幼兒の樂しむ遊であります。

廣い庭にはいろ／＼の蟲が飛てをります。蝶や蜻蛉も時々保育室に飛び込んで幼兒を喜ばせたり又お話の材料となるのであります。風のまにまにお部屋へ散り込むみぢ葉も風情のあるものでござります。

今は庭に飛ぶバッタなどの蟲を追つかけて男の子供はどんなた元氣だかしれません。

庭でつみとつた小草は砂場の花壇を作つたりしの竹や笹の葉は動物園のやぶともなれば砂池に浮ぶ笹舟も容易に出來ます。幼兒が摺れた摺紙の籠に根のまゝの可愛い、花を植ゑ家土産に致す事もござります。

春は咲き亂れた花の下に秋は紅葉散りしく芝生

の上にお母様方のお心づくしのお辨當をあちらの芝生こちらの小山に三々五々集まつて楽しく食事をとる事も屢々ございます。

庭に大きな一株のざくろの木があります今澤山美しい實を結んでをります。毎年ルビーの様な小粒のざくろを幼児の作つたおカバンにお土産にするのも間もない事です。

初夏の頃十坪程の畑に大きい組の幼児達が三粒づゝ種子蒔いた落花生が花をもちまして形丈は出来ました。ある日この實らない落花生を少し掘り出して幼児が頂く様になるまでの順序に付て面白く觀察を致しました。甘薯も小さい畑にもう大きくなりました。やがて掘り取る楽しい日も近づきました。そうして土の中から一つのつるに幾つもの実が付いたまゝ掘り出した時の幼児の喜びに充ちた笑顔を今から嬉しく思つて居ります。掘り出した落花生や甘薯はおみやげとしたり又小

さい組の幼児達をお客様にして楽しい試食會を開きます。

本縣名産の初が茸毎年園内の土手や芝生のあちらこちらに可愛い姿を見せますのも近くなりました芝草にかくれた初茸を一つ見付ても大騒ぎ二つ三つ四つ一つ所の茸をさがし當た時の喜びは又格別でございます。

松露も少しばかりございます。

丁度幼児がとるに都合のよい低い大きくない栗の木が四五株ありましたが枯れまして今一株になりました幼児の背のほど小さい木に今年十個ほど實をもちましてこの間二つとつてお話の材料になりました今七つ八つ幼児にやるには數の足りないのでも欲し想にながめてをります。

園の庭續きの野山に今栗が澤山ございます。園内に巢を作つてをります栗鼠がいくつもいくつも出て參りまして熟した栗をふり落します。そうし

て口でしつかりもつて枝から枝へ栗を巢へ運びます、いつまで見ても興味の深いもので幼児は聲高く飛びはねて喜びます。

成田山では大正八年から一百万圓を投じまして工事を初めました五萬坪の公園が立派に出来上りました。幼児は四五町隔てた公園へよく一日の楽しい遠足を致します。團栗や椎の實が落葉の中に澤山落ちてをりますので幼児は幼稚園とはちがつた自然に恵まれました木の實拾ひを致します。美しい池のほとりや芝生の上で舌鼓を打つてお辨當を頂きますのは限りもない喜びでございます。

私はいつも自然の天地に恵まれた幼児達の幸福を感じます。狭くはない園舎内で唱歌や遊嬉をしたり畫を描いたりお話したり致しますがそれよりも廣いひろい庭少しも危険のない静かなみどりの庭移りゆく四季折々の自然の庭に幼児の心を美しく又やさしく導かれてゆくことを嬉しく思ひま

す。そうしてかゝる環境で幼児の談し相手となつて居る事を幸と存じます。

小さい狭い成田町も電車が通ひます。幼稚園下と云ふ停留所もございます。近頃上野行兩國橋行汽車の外京成電車が開通致しまして成田押上間を一時間と三十分で往來がてきますので日に月に進まれる都の様も容易に拜見することが出来ます。今後皆様の御研究の跡を辿りまして道のためにくし度と存じます。

草深い幼稚園に遊ぶ幼児の日常生活の一端を申上げて筆をととむ。

